



2015年11月18日
PayPal Pte. Ltd.東京支店

ペイパル、エス・ワイ・エス社が提供する 日本最大級のブッキングエンジン「OPTIMA」と提携

越境 EC 決済のグローバルスタンダード「ペイパル」のホテル導入が可能に

PayPal Pte. Ltd.（本社：シンガポール、東京支店カンントリーマネージャー：エレナ・ワイズ（Elena Wise）、以下「ペイパル」）は、この度、株式会社エス・ワイ・エス（代表取締役：杉田真志、以下「SYS」）が急増する訪日観光対策として、世界 203 の国と地域で 1.7 億人が利用するネット決済におけるグローバルスタンダードであるペイパルを導入することを発表しました。これにより、SYS のブッキングエンジン「OPTIMA」を利用するホテルにてペイパルを導入することが可能となります。

先月、日本政府観光局は 8 月の訪日外国人旅行者数が前年同月比 63.8%増の 181 万 7100 人で、8 月としては過去最多だったと発表しました。また、2015 年に入ってから訪日客は 9 月 10 日時点で 1342 万 4000 人で、過去最多だった 14 年実績（1341 万 3400 万人）をすでに上回っており、観光庁も、2015 通年での見通しを 1800 万人から 1900 万人に上方修正するなど、訪日観光対策は急務となっております。今回の SYS との提携により、国内における数千のホテルにおいて、2016 年初旬よりペイパルを決済手段のひとつとして導入することが可能となります。

ペイパルはすでに国内において、積極的に訪日観光・越境 EC との提携を行っています。最近では北海道最大のオールシーズンリゾート「ルスツリゾート」への導入や、中国銀聯カードや中国建設銀行などとのコラボレーションによって中国の消費者と国内 EC 事業者を結ぶ「ペイパルチャイナコネクティブプログラム」のローンチを進めてきました。また、クールジャパン関連のグッズやコンテンツの海外販売においても幅広く利用されています。

ペイパルは、越境 EC におけるグローバルスタンダードとして 203 の国と地域、100 通貨以上に対応しており、デジタルウォレットという次世代の決済サービスとして 1 億 7300 万人が利用する利便性と安全性を兼ね備えています。中国においてペイパルは、海外ネット購入者に最もよく利用されている決済サービスとして、2010 年よりすでに銀聯カードに対応しており、発行総数 50 億枚の銀聯カード会員が安心・便利に海外ネット購入を行うことを可能にしています。



ペイパルを導入した理由として、SYS の代表取締役杉田氏は以下のように述べています。

「ペイパルは 17 年以上の実績のある決済手段として、その高い安全性と利便性に高い認知を得ています。すでにネット決済、とくに越境 EC などの国際決済でグローバルスタンダードとして世界 203 の国と地域で 1.7 億人に利用されていることから、急増する訪日観光客が求める決済手段として、ホテルや観光関連のビジネスにとっての導入が不可欠になると考えています。例えばペイパルは 24 時間の不正取引監視システムに始まり、カード情報をホテル側と共有せずに決済できること、また何かあった場合 24 時間 365 日 20 言語で電話対応するカスタマーサポート、そして不正にあった場合、消費者を保護する『買い手保護制度』など、安心・安全な決済として世界中の消費者に認識されています。ロゴをホテルのサイトに掲載するだけで、初めてサイトを訪れるユーザーに安心感を提供できるのは、非常に重要な『おもてなし』です。」

ペイパルの導入はホテル側においても大きなメリットとなります。具体的には、ペイパル決済ではカード情報を直接取り扱う必要がないため、情報流出などのリスクが軽減できること、最短三日で銀行へ出金できるのでキャッシュフローが改善できること、何か不正にあった場合でも「売り手保護制度」により被害額をペイパルが負担することなどが挙げられます。

今後もペイパルと SYS は訪日観光ビジネスをより活性化するために、様々な取り組みを進めていく予定です。

■SYS について

SYS は 1999 年 9 月に設立。ホテルを対象としたオンライン予約システム（後の「SUITE」の原型）を 2000 年 4 月に開発しました。同年 7 月には「サイバーチェックイン」「サイバーコンシェルジュ」など、今日における BTO（Build to Order = カスタマイズ商品）の原型となるオンライン予約システム、サービスを開発。01 年 5 月には高級ホテルの当日予約限定サイト「yoyaQ.com」をリリースし、宿泊産業に明るい話題を提供しました。

その後もホテル向け総合ホスピタリティソリューションシステム「SUITE」や WEB 予約システム「OPTIMA」など、予約に関わるソリューションの開発・提供を通じて、ホテル・レストランの予約、とりわけ直販チャネルにおける予約システムとサービスで着実に実績を伸ばしています。

創業以来、自らを「予約を通じて喜びを創造するスペシャリスト集団」と称する SYS は、新たなステップとして JAL ダイナミックパッケージなど仕入システム開発の受託、スマートフォン対応や個人旅行者向けの宿泊プランのカスタマイズ強化を施した予約システム「OPTIMA S」、地域全体の情報を集客の武器にし、インバウンドゲスト集客にも寄与する「ローカル・エクスペリエンス・マーケティング」が可能なプラットフォーム「たびレシピ」をはじめ、数々の新サービスをリリースしています。「予約で、未来にたくさんの笑顔を」というスローガンのもとに、観光産業のシステムパートナーから、生活者と事業者のダイレクトマッチングによるマーケティングパートナーへの道を歩んでいます。



■ペイパルについて

ペイパルは 1998 年に設立以来、お金のやりとりをもっと自由に、もっと安全にすることを目指し、一貫してデジタル決済のイノベーションに努めてきた米シリコンバレーのテックカンパニーです。ペイパルは、消費者に対して安心・便利なネット、リアルそしてモバイルでのショッピングや個人間送金*¹を実現するデジタルウォレットサービスを提供する一方、ビジネスに対してはシンプルかつ低コストな決済ソリューションから、越境 EC・訪日観光 EC、モバイル・アプリ、シェアリングエコノミー(C2C スキーム)、または次世代ショッピング&デジタルコマースまで対応できる幅広いプロダクトやサービスを提供しています。現在では 203 の国と地域で、100 通貨以上での決済、57 通貨で銀行口座への入金、26 通貨*²での支払いの受け取りが可能なネット決済のグローバルスタンダードとして、1 億 7300 万人および 1000 万のビジネスが世界中でペイパルを利用しています。ペイパルは世界をリードするオープンデジタル決済プラットフォームとして、昨年 40 億件の取引を決済し、うち 10 億件はモバイル決済でした。

ペイパルに関する詳細は about.paypal-corp.com をご参照ください。また PYPL financial information については investor.paypal-corp.com をご参照ください。ペイパルの日本語サイトは www.paypal.jp となります。

(※1) 日本では個人間送金および個人の銀行口座からの支払いには対応していません。

(※2) 日本では 22 の通貨に対応しています。